

第 38 回日本土壌動物学会大会プログラム

会 期 2015 年 5 月 23 日（土）～ 24 日（日）
会 場 香川大学 農学部キャンパス内
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸 2393
<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp> TEL : 087-891-3145

5 月 23 日（土）

- 10:00～15:00 大会受付（A303）
9:00～10:00 編集委員会（DS303）
10:30～11:30 評議委員会（DS303）
12:00～13:00 昼休み
13:00～15:00 日本土壌動物学会公開シンポジウム（BW106）
「土壌動物の多様性と機能」
15:15～17:15 口頭発表（BW106），01～08
17:30～18:15 総会（BW106）
18:20～ 懇親会会場へ移動（北門を出て左手，BW106 から徒歩 2 分）
18:30～20:30 懇親会（農学部食堂）

5 月 24 日（日）

- 9:00～10:00 口頭発表（BW106），09～012
10:00～11:40 ポスター発表（DS304），P1～P26
[10:00～10:50] 講演番号が奇数のポスター発表コアタイム
[10:50～11:40] 講演番号が偶数のポスター発表コアタイム
11:50～ 写真撮影（農学部 A 棟正面玄関前），閉会挨拶
12:00～12:40 昼食を予約された方へお弁当の引き渡し（A303）
13:00～ トビムシ同定実習（DN205），ミミズ研究談話会（DS303）
13:30～ エクスカーション（A 棟正面玄関に 13:30 に集合）

大会日程表

5月23日(土)

		9:00	10:00	13:00	15:00	17:15	18:15	20:30
A会場	A303		受付			15:15	17:30	
B会場	BW106	10:30		12:00	公開シンポジウム	一般講演	総会	
休憩室1	DS303	編集委員会	評議委員会	休憩室1				
ポスター会場	DS304							18:30
懇親会会場	食堂							懇親会
休憩室2	A306	休憩室2						

5月24日(日)

		8:30	9:00	9:30	10:00	12:00	12:40	15:00	17:00
A会場	A303	受付					お弁当引き渡し		
B会場	BW106	一般講演		11:40			13:00		
休憩室1	DS303			休憩室1		ミミズ研究談話会			
ポスター会場	DS304			ポスター講演					
トピムシ実習	DN205						トピムシ同定実習		
休憩室2	A306				休憩室2				

諸案内

口頭発表される方へ

講演時間は質疑応答、交代時間を含めて1題あたり15分です。

時間経過は以下の合図でお知らせします。

第1鈴：予鈴（10分）、第2鈴：発表終了（12分）、第3鈴：討論終了（15分）

発表時間は厳守をお願い致します。

会場にはWindows 7とMacOS XのPCを用意いたします。

ファイルはあらかじめUSBメモリーもしくはCDに記録し、発表前に必ず事務局で用意した会場のPCにて動作確認をお願いいたします。

当日、お時間に余裕のない方は事前に大会事務局（jssz2015@gmail.com）まで発表のPowerPointファイルをお送り下さい。

事務局ではPowerPointのバージョンは2010（Windows）と2011（Mac）を用意いたします。

発表終了者に次の講演の座長をお願いいたします。

ポスター発表される方へ

以下のような発表のコアタイムを設定いたします。

講演番号が**奇数**の方：10:00～10:50

講演番号が**偶数**の方：10:50～11:40

ポスターは横90cm×縦120cm以内で作成してください。

23日（土）11:30から掲示可能です。24日（日）9:30までに掲示し、閉会后、13:00までに忘れず回収してください。

交通

【電車】高松琴平電鉄の長尾線「農学部前」駅をご利用ください。

JR 高松駅から東へ約 250m に高松琴平電鉄「高松築港」駅があります。

時刻表は http://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/time/jikoku_new/02n_down.htm をご参照ください。12時15分および、12時35分に「農学部前」駅着の電車は「高松築港」駅を11時48分、12時08分に出発、「瓦町」駅を11時53分、12時13分に出発いたします。ことでん長尾線「長尾」行きに御乗車いただき（乗車時間30分、運賃410円）、「農学部前」駅を下車の後、降りられたホーム側の道路を北へ100m（徒歩2分）ほど進まれました交差点の向かって左手に農学部東門があります。

【高松空港から】高松空港発の空港リムジンバスにて「瓦町」停留所を下車（乗車時間30分、運賃710円）となります。瓦町駅から高松琴平電鉄ことでん長尾線「長尾」行きに御乗車いただき（乗車時間27分、運賃380円）、「農学部前」駅を下車の後、降りられたホーム側の道路を北へ100mほど進まれました交差点の向かって左手に農学部東門があります。

【自家用車】自家用車でお越しの方は、キャンパス北側のグラウンド脇に駐車スペースがございます。キャンパス内への駐車、お車でのご荷物搬入などにつきましては、香川大会事務局の豊田まで御一報ください。農学部キャンパスには、高松自動車道「高松東IC」から南へ3.5km（約8分）、または高松東道路「さぬき三木IC」から南西へ5km（約10分）となります。<http://www.navitime.co.jp/drive/>等のサイトをご利用の際は香川大学三木町農学部キャンパスを選択ください。農学部には、近隣に農学部附属農場がございますのでお間違いないようお気を付け下さい。

【タクシー】JR 高松駅より香川大学農学部キャンパスまで約40分（およそ4,500円）、ことでん瓦町駅より農学部キャンパスまで約30分（およそ3,500円）です。

〈企画案内〉

エクスカーション

日時：5月24日（日）13:30～16:30

場所：藤尾山

内容：藤尾山の頂上付近（標高約163メートル）にある藤尾八幡神社の社殿裏手が展望台となっており、讃岐平野が見渡せます。徒歩にて藤尾山周辺を巡ります。香川県内では珍しい常緑広葉樹林の残るエリアです。2時間程度の歩行を予定しています。なお、大会会場からの移動は、自家用車の分乗にて対応する予定です。

懇親会

日時：5月23日（土）18:30～ 場所：農学部食堂

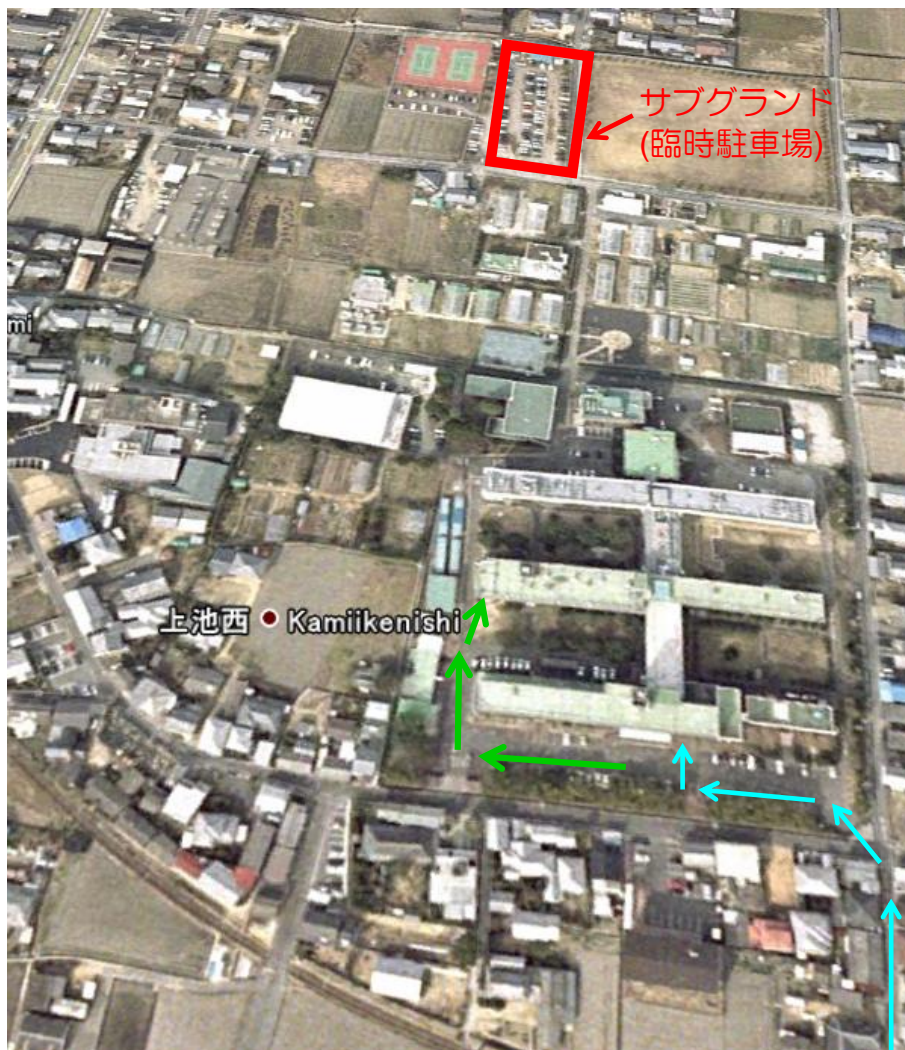
トビムシ同定実習

日時：5月24日（日）13:00～ 場所：農学部 DN 棟 2 階 DN205 室

ミミズ研究談話会

日時：5月24日（日）13:00～ 場所：農学部 DS 棟 3 階 DS303 室

大会会場へのアクセス



琴電「農学部前」駅より徒歩の方は、**青色矢印の方向**へお進みください。
玄関に入り、正面のエレベータまたは右手の階段で3階の大会受付にお越しください。

農学部前駅

口頭発表および公開シンポジウム会場へは、**緑色矢印の方向**へお進みください。BW棟の入口に入って左手が会場です。

臨時駐車場のご案内

お車でお越しの方はサブグラウンドへ駐車してください。

駐車場の入り口はグラウンドの南東になります。

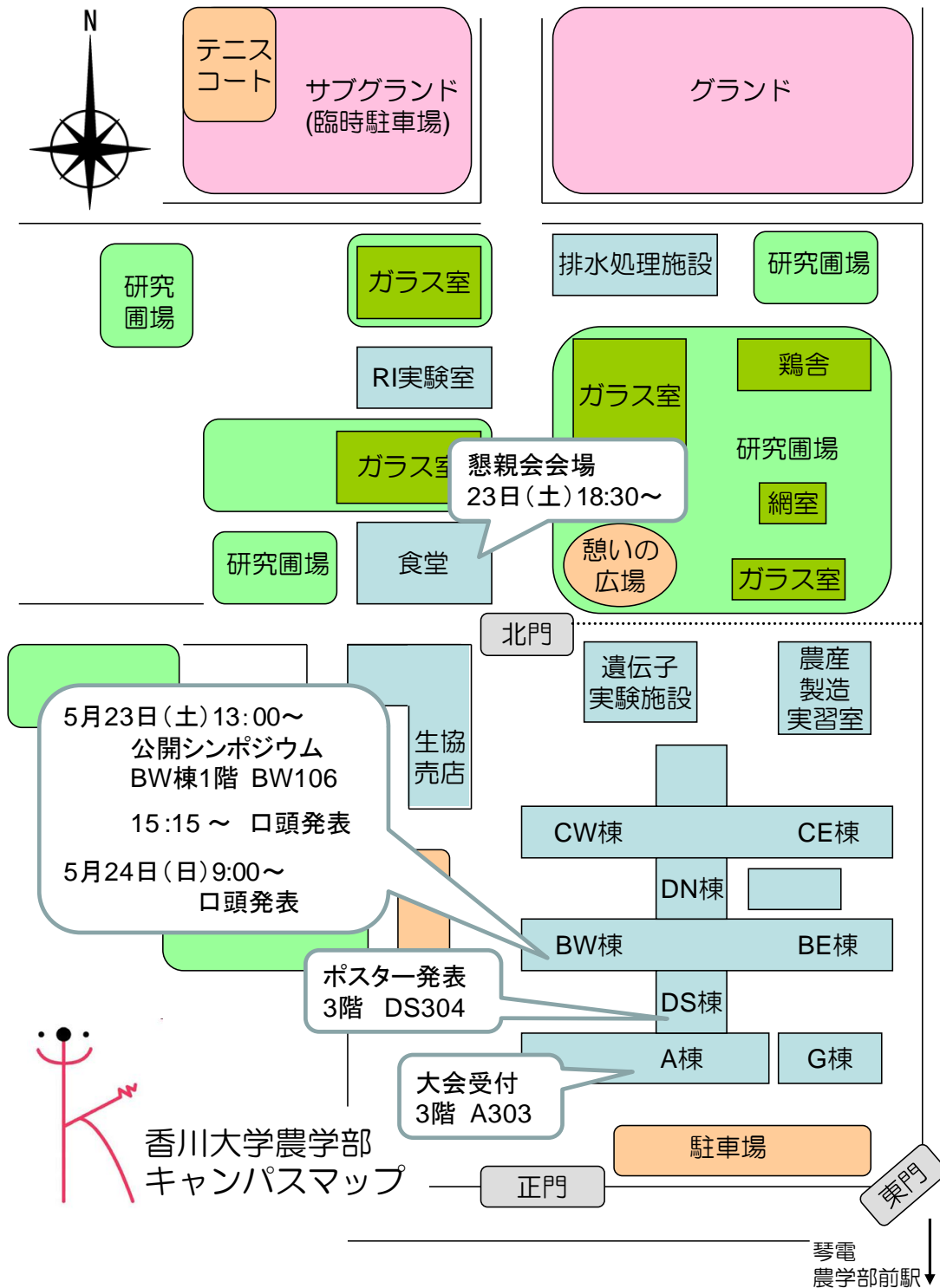
正面玄関脇の駐車場を御利用希望の方は、大会事務局の豊田までご連絡ください。

正面玄関脇の駐車場は到着時間によりましては、ご利用できない場合がございます。

サブグラウンド駐車場は大会前日から終了日の翌日（25日）までご利用が可能です。



農学部キャンパスのご案内



口頭発表

5月23日(土) 15:15~17:15 BW106

15:15~	01	ハナゴケ(地衣類)を利用するトビムシの冬期間における成長	○松本直幸 ¹ , 須摩靖彦, 小池孝良 ¹ (¹ 北海道大学大学院農学研究院)
15:30~	02	沖縄の農耕地におけるマイマイ個体数、個体サイズおよび構成割合の推移	○鬼頭 誠(琉球大学農学部)
15:45~	03	四国産陸生等脚目甲殻類の分布特徴	○布村昇(金沢大環日本海域境研)
16:00~	04	小石川植物園のムカデ相	○佐々木慎平(東大院), 石井清(昭和大)
16:15~	05	エボシダニ科 Idiozetidae Aoki, 1976 とドテラダニ科 Eremaezetidae Piffel, 1972 の系統関係	○島野智之(法政大学自然科学センター), 角井敬知(北海道大学大学院理学研究院)
16:30~	06	Comparison of soil fauna diversity and crop productivity between No-tillage with weed mulch and conventional tillage system in organic eggplant production	○Rahmatullah HASHIMI ¹ , Daisuke Muramatsu ¹ , Satoshi KANEDA ² , Takahiro Ito ¹ , Masakazu KOMATSUZAKI ¹ , Tomoyasu Nishizawa ¹ , Nobuhiro KANEKO ³ , Hiroyuki OHTA ¹ (¹ College of Agriculture, Ibaraki University, ² National Institute for Agro-Environmental Sciences, and ³ Yokohama national University)
16:45~	07	卵胞発見によるホタルミミズの生活史の解明	○柴田康平(鎌倉市), 大場裕一(名大院・生命農), 吉田宏(樺原市昆虫館友の会)
17:00~	08	丹後山地とその周辺におけるイラカザトウムシの染色体数の地理的分化	○鶴崎展巨, 岸田紀子(鳥取大学地域学部)

5月24日(日) 9:00~10:00 BW106

9:00~	09	日本における外来種オカダンゴムシの遺伝的多様性	大瀧由佳(北九州市), ○唐沢重考(福岡教育大学)
9:15~	010	霧ヶ峰(長野県)およびその周辺におけるオビババヤスデの分布について	○藤川粹至, 吉田利男
9:30~	011	地表徘徊性甲虫類の活動性に対する気象要因の影響	○丹羽 慈(自然環境研究センター)
9:45~	012	ニホンジカが大型土壌動物に与える影響と防鹿柵設置の効果—紀伊半島の冷温帯林と暖帯林の事例—	○岸本年郎(ふじのくに地球環境史ミュージアム), 松本雪穂, 鳥居春己(奈良教育大)

ポスター発表

5月24日(日) 10:00~11:40 DS304

P 1	三宅島における陸生大型ミミズ群集と噴火被害後の植生との関係	○井本朱香(筑波大・生命環境), 門倉由季(筑波大・生命環境), 南谷幸雄(横浜国大・環境情報), 金子信博(横浜国大・環境情報), 上條隆志(筑波大・生命環境)
P 2	フィリピンミミズ <i>Pithemera bicincta</i> (Perrier, 1875) の日本における分布の現状について	佐藤沙弥香(静岡県三島市立北小), 長谷川元洋, 川上和人(森林総研), 南谷幸雄(横浜国大), ○伊藤雅道(駿河台大)
P 3	生息地の形がワラジムシ類の分布に及ぼす影響について	○那須貴大(福岡教育大学院), 鈴木達矢(福教大), 唐沢重考(福教大)
P 4	環境保全型農法実践圃場におけるミミズ群集の季節変動	○金田哲(農業環境技術研究所), 小松崎将一(茨城大学・農), 大久保慎二(自然農法国際研究開発センター)
P 5	九州本島における <i>Metaphire sieboldi</i> (Horst, 1883) の地理的分布	○上平幸好(函館短期大学)
P 6	四国に分布する縞のある表層性ミミズの分類学的検討	○南谷 幸雄(横浜国大・環境情報)
P 7	シマミミズの走光性の研究	○水谷 瑞穂(京都市立堀川高校)
P 8	単一生ゴミ成分を摂食した堆肥型ミミズ <i>Eisenia Andrei</i> 糞土の養分動態・ミミズコンポスト活用のために	○木村純平(横国大・環情), 林幸博(日大・生物資源)
P 9	保護者から見た幼稚園児の小動物とのかかわりー特に土壌動物とのかかわりー	○佐藤 英文(東京家政大学)
P10	ハヶ岳山麓のキシヤヤスデ個体群現状と大発生年に向けて	○橋本みのり(大東文化学 環境創造学部)
P11	不耕起・堆肥連用圃場の土壌線虫の多様性 再訪ー20年にわたる調査から見えてきたことー	○荒城雅昭(国立研究法人農業環境技術研究所)
P12	不耕起草生栽培が土壌線虫群集に及ぼす影響	○伊藤崇浩(茨城大), Rahmatullah Hashimi(茨城大院), 村松大輔(茨城大), 小松崎将一(茨城大)
P13	冬期の湛水は水田の土壌線虫相に持続的な影響を及ぼす	竹本周平(東大), 秋田和則(茨城県央農林事務所), 片柳薫子(農環研), 浦田悦子(CTI アウラ), 伊藤豊彰(東北大), 齋藤雅典(東北大), ○岡田浩明(農環研)
P14	有機入り配合肥料はハウレンソウケナガコナダニ被害を増加させる	○横田 啓, 福田拓斗, 鈴木良則(岩手県農業研究センター 県北農業研究)

P15	有機栽培管理等が大型土壌動物に与える影響	○大久保慎二, 千嶋英明, 岩石真嗣 (自然農法国際研究開発センター) 金田哲 (農環研), 井上智也 (東大・院・農学生命科学科), 藤山静雄 (信大・理)
P16	トビムシ類の DNA バーコーディングとメタバーコーディング手法の開発	○齋藤星耕 ¹ , 青山洋昭 ¹ , 藤井佐織 ² , 砂川春樹 ³ , 長濱秀樹 ¹ , 阿久津雅子 ⁴ , 新里尚也 ¹ , 金子信博 ² , 中森泰三 ² (¹ 琉大熱生研; ² 横国大環境情報; ³ 沖縄県農研セ; ⁴ 東海大基盤工)
P17	北海道東部の冷温帯落葉広葉樹林およびカラマツ人工林において地形条件がトビムシの群集距離に与える影響の評価	○菱拓雄, 田代直明, 前田由香, 井上幸子, 長慶一郎, 緒方健人 (九大演習林)
P18	沖縄のきのこから得られたトビムシ類の分類学および生態学的特徴	○中森泰三 (横浜国大・環境情報), Nguyen Duc Hoang Pham (Biotech Cen HCM City, Vietnam), 寺嶋芳江, 青山洋昭, 齋藤星耕 (琉球大学・熱帯生物圏研究センター), 藤井佐織, 金子信博 (横浜国大・環境情報)
P19	クロヅアヤトビムシ <i>Homidia nigrocephala</i> および類似種の剛毛配列	○一澤 圭 (鳥取県立博物館)
P20	樹上の付着リターと堆積リターにおける土壌動物群集の違い	○吉田智弘 (東京農工大・農), 宮松友浩 (東京農工大・院・農), 綾部慈子 (名大・院・生命農)
P21	土壌ブロック交換法によるトビムシ・ダニ群集構造を決める要因の探究	○長谷川元洋, 岡部貴美子 (森林総合研究所)
P22	千歳産シリトゲトビムシ属(<i>Friesea sp.</i>)の一種(予報)	○須摩靖彦, 松本直幸(北海道大学大学院農学研究 院)
P23	カタツムリの野生集団に対するダニの寄生率	○入村信博 (千葉県立千葉北高校), 浅見崇比呂 (信州大・理・生物)
P24	日本産土壌性 <i>Mundochthonius</i> 属(カニムシ目: ツチカニムシ科)の分子系統解析に基づく分類学的研究	○大平 創, 兼子伸吾, 塘 忠頭(福島大学・共生システム理工)
P25	イシカワアカザトウムシ (カマアカザトウムシ科) における系統学的研究	○桑川義雅(愛媛大・連合農学研究科、南あわじ市), 伊藤桂 (高知大・農), 早川宗志 ((独)農環研), 三浦収 (高知大・総合研究センター), 横山潤 (山形大・理), 荒川良, 福田達哉 (高知大・農)
P26	コナダニ <i>Sancassania</i> 属が放出する揮発成分～溶媒抽出法と SPME 法の比較～	○清水 伸泰, 寺本 研太 (京都学園大学バイオ環境学部)

参加者一覧

氏名	所属	講演番号
青木 淳一	横浜国立大学 名誉教授	S1
安座間 安史	沖縄県名護市	
足立 高行	応用生態技術研究所	
荒城 雅昭	国立研究開発法人 農業環境技術研究所	P11
池田 健一	近畿大学 農学部環境管理学部	
石井 清	昭和大学	
石川 和男	松山市	
石崎 成美	香川大学農学部 応用生物科学科	
一澤 圭	鳥取県立博物館	P19
伊藤 崇浩	茨城大学農学部	P12
伊藤 文紀	香川大学農学部 応用生物科学科	
伊藤 雅道	駿河台大学 経済経営学部	P2
猪俣 麻美	東京農業大学大学院 農学研究科	
井本 朱香	筑波大学 生命環境科学研究科	P1
大久保 慎二	(公財) 自然農法国際研究開発センター	P15
大平 創	福島大学大学院 共生システム理工学研究科	P24
岡田 浩明	農業環境技術研究所	P13
岡本 猛	Well Stone有限公司	
金地 哲史	高知工科大学 環境理工学群	
金子 信博	横浜国立大学	
金田 哲	農業環境技術研究所	P4
上平 幸好	函館短期大学 生物学研究室	P5
唐沢 重考	福岡教育大学	O9
岸本 年郎	ふじのくに地球環境史ミュージアム	O12
鬼頭 誠	琉球大学 農学部	O2
木村 純平	横浜国立大学 環境情報学府	P8
糸川 義雅	愛媛大学 連合農学研究科	P25
小松崎 将一	茨城大学 農学部	
齋藤 星耕	琉球大学 熱帯生物圏研究センター	P16
坂井 誠	共生科学	
佐々木 慎平	東京大学大学院 理学系研究科	O4
佐藤 英文	東京家政大学	P9
佐藤 大樹	森林総合研究所 森林昆虫研究領域	
芝 実	愛媛県東温市	
柴田 康平	鎌倉市	O7
島野 智之	法政大学 自然科学センター	O5

氏名	所属	講演番号
清水 伸泰	京都学園大学 バイオ環境学部	P26
須摩 靖彦	釧路市	P22
高橋 徹	神奈川県立神奈川総合産業高校	
滝 朋子	香川県東かがわ市	
田中 真悟	福岡市	
田之岡 綾花	東海大学 札幌校舎生物学部生物学科3年	
塘 忠顕	福島大学 共生システム理工学類	
鶴崎 展巨	鳥取大学 地域学部	S2, O8
豊田 鮎	香川大学 農学部 応用生物科学科	
永野 昌博	大分大学 福育福祉科学部	
中村 修美	埼玉県立自然の博物館	
中森 泰三	横浜国立大学 環境情報研究院	P18
那須 貴大	福岡教育大学	P3
新島 溪子	東京都杉並区	
入村 信博	千葉県立 千葉北高校	P23
丹羽 慈	自然環境研究センター	O11
布村 昇	金沢大学環日本海域環境研究センター	O3
橋本 みのり	大東文化大学 環境創造学部	P10
長谷川 元洋	森林総合研究所	P21
長谷川 真紀子	昭和大学	
菱 拓雄	九州大学 宮崎演習林	P17
肘井 直樹	名古屋大学大学院 生命農学研究科	
兵藤 不二夫	岡山大学 異分野融合先端研究コア	S3
福山 研二	自然環境研究センター	
藤川 粹至	静岡市	O10
前原 忠	東京大学大学院 農学生命科学研究科	
松本 直幸	北海道大学 農学部	O1
水谷 瑞穂	京都市立堀川高校 3年	P7
南谷 幸雄	横浜国立大学 環境情報	P6
山根 美子	京都大学大学院 人間・環境学研究科	
山本 哲也	広島総研保健環境センター	
横田 啓	岩手県農業研究センター 県北農業研究所	P14
吉田 利男	NPO法人 川の自然と文化研究所	
吉田 智弘	東京農工大学	P20
吉田 宏	檀原市昆虫館友の会	
渡部 友子	北海道大学農学院環境資源学部門昆虫体系	
渡辺 弘之	京都市	
Mohammad Ismail Moqbal	Ibaraki University	
Rahmatullah Hashimi	茨城大学 農学部地域環境科学学科	O6